

馬込第三小学校の改築における複合施設の機能の方向性について

総務財政委員会
令和3年4月15日
企画経営部 資料1番
所管 施設整備課

1 基本的な考え方

馬込第三小学校の改築に当たっては、当該校の特性を活かし、学校教育の維持・向上に資する教育機能を持たせるとともに、建物の容積を最大限に活用し、地域特性や行政需要に応じた機能を複合的に置き込むことにより、新たな教育と地域力の拠点とすることを旨とする。

2 馬込第三小学校の概要

所在地	北馬込一丁目 28 番 1 号
敷地面積	10,951 m ²
既存校舎の床面積	7,061 m ²
既存校舎の構造	鉄筋コンクリート造 3 階建
令和元年度の児童数	713 人 (21 学級)

3 馬込第三小学校の複合化における3つの視点と施設機能

- ①学校から見た視点 地域力を活かした学校教育の推進
(地域力との連携、協働、地域のくらしを学ぶ場、世代間交流、ふれあい)
- ②地域から見た視点 馬込地区の特色に応じたまちづくり
- ③公共施設マネジメントからの視点 公共施設の集約・複合化等による効果的・効率的な施設の整備

教育 I こどもの教育環境の向上
学習機会の充実や交流機会の創出
室生犀星の離れ（茶室）の移築と資料の展示、郷土資料館との連携、交流イベントの実施をとおして学校と地域のつながりを強化

地域 II 地域のくらしを支える場の充実
地域活動における利便性の向上
地域活動室の整備

大田区立学校 諸室等仕様標準
郷土資料室
地域集会室

4 馬込第三小学校周辺図



(室生犀星の離れを活かし、馬込文士村の回遊性を高める)

5 スケジュール (予定)

スケジュール	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度以降
基本構想・基本計画	→			
基本設計・実施設計		→		
解体・工事				→